

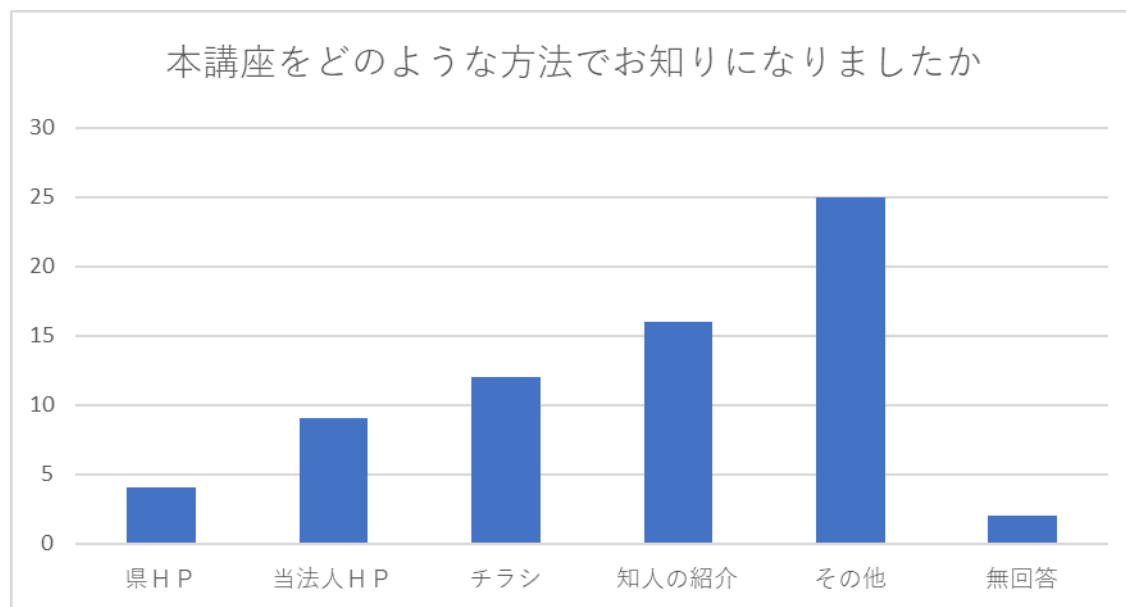
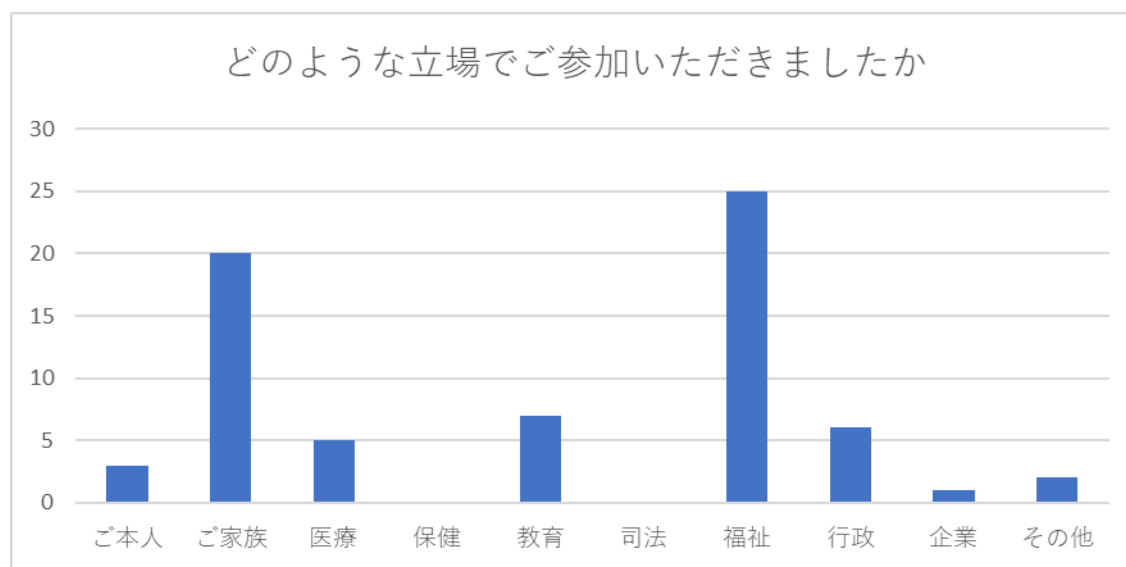
『 1月31日 県民講座 』

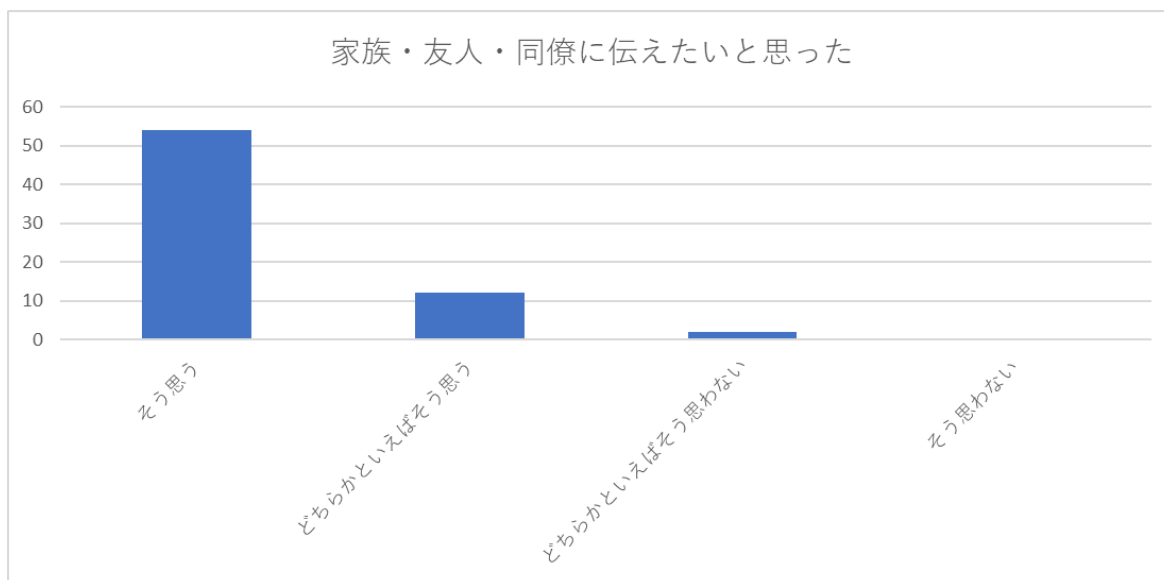
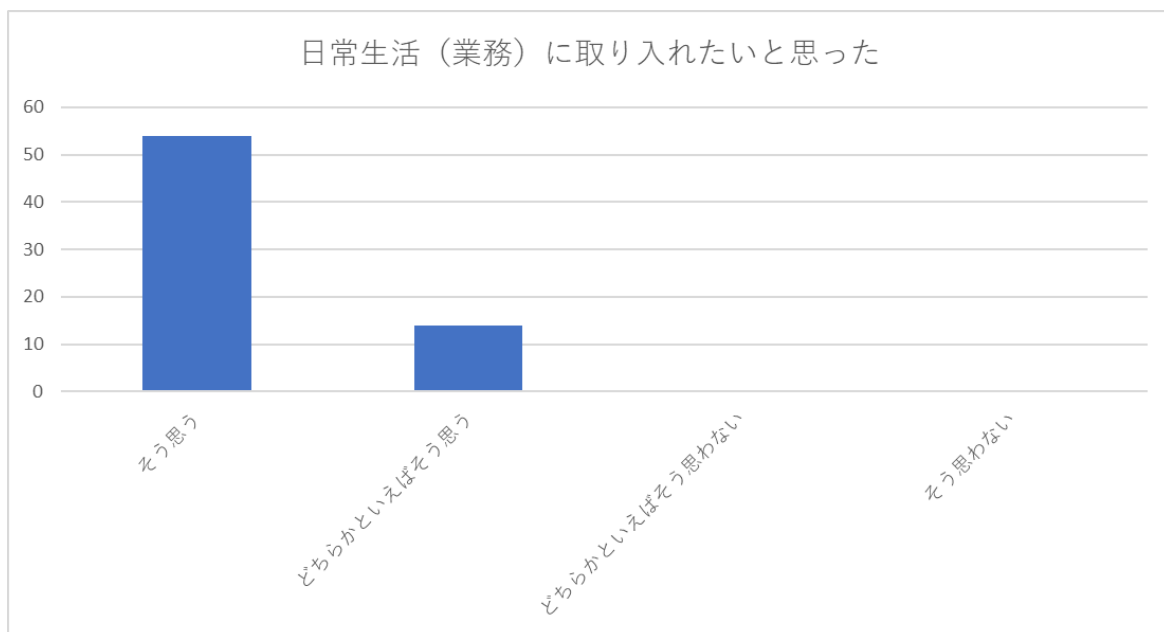
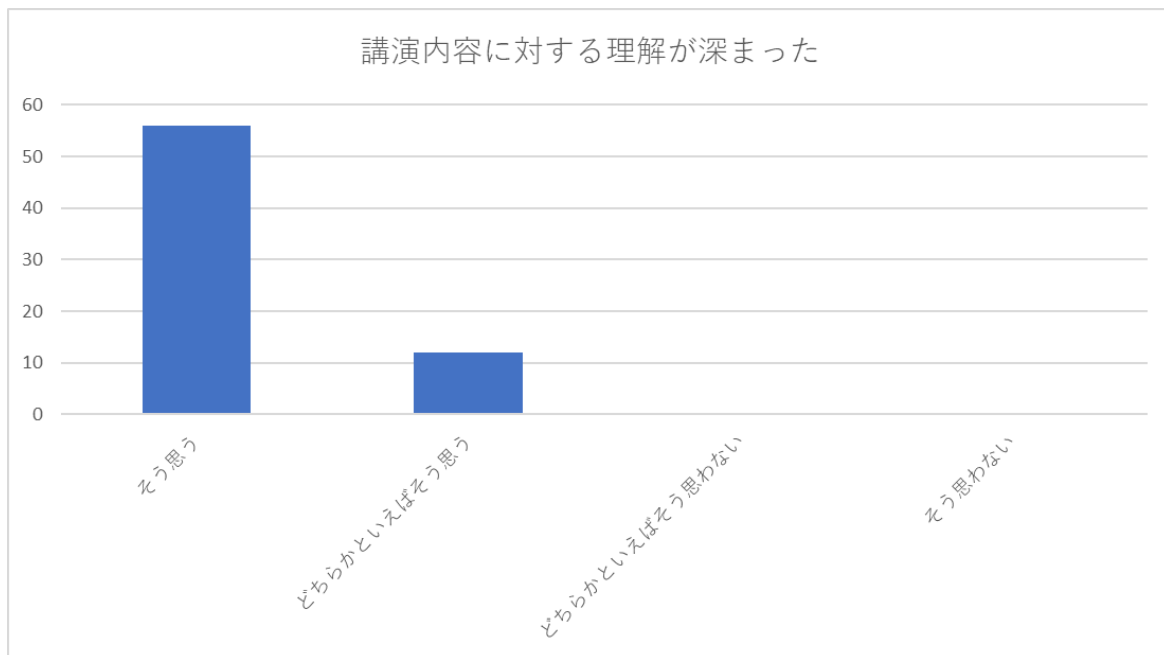
講演『 滋賀県民講座 発達障害の理解と支援 』

講師：愛知県医療療育総合センター中央病院子どものこころ科
児童精神科医 吉川 徹 氏

参 加 者：600名（内 来場者：29名、Web：571名）

アンケート回収率：11%（内 来場者：26名、Web：41名）





【本講座についての感想】

- ・吉川先生の御講演が、とても聴きたかったので、大変満足です。謎がとけた気分にもなりました。これからの子育てに役立てたいと思います。また、たくさんの方々に視聴してもらいたかったです。
 - ・働くことや自立についての基本的な考え方を今、このタイミングで知ることができて、とてもよかった。就労・自立を目的にしない、とは聞いてきたが、さらに踏み込んで動機があるかどうかなど、今後子どもたちに伝えていくべきことを知ることができたので、これからは活かしていきたい。吉川先生、ありがとうございました。
 - ・発達障害の特性と望ましい対応について説明が具体的でわかりやすく、理解を深めることができました。私自身が当事者であり、子どもたちを育てる上で理念にしばられていたこと、修正してゆくことが難しいこと、本当にそうだなと納得します。今回のお話しは私も新しい価値観を持ち子どもたちと堂々と生き直す勇気をいただけたように思います。ありがとうございました。
 - ・とても分かりやすく、面白く参考になりました。特に、言葉の使い方(「できる」と「したい」)の違いや、趣味 vs. 床面積 など、具体的な面白い例を挙げて下さったので、視聴しながら、うんうん、と大きくうなづくことも多かったです。
 - ・思った以上にわかりやすく話されて、具体的な特性に対する配慮や、視点の持ち方、支援の仕方はとても参考になりました。ほかの方にも、今の支援員さんや多くの先生方に是非知ってもらいたい内容でした。限定配信でも見るのができて良かったです。もう少し期間延ばしてほしいですね。なかなかゆっくり見られず、もう一回見直したいです。同じテーマでも先生によって、話される内容がこんなに違うとは思いませんでした。有り難うございます。
 - ・今回の講演で、動機づけの大切さは支援の仕方に結びつく理論や働く意義(自立したいか)を分かりやすく解説いただいたので有難かったです。
 - ・ASDの子の好きの増えにくい理由がわかりやすかったです。ゲームやスマホが好きでどのようにバランスを取ったらいいかなーと思っていたのでご紹介してもらった本にも興味が湧きました。何となく出来た方がいいかなーと思ってしていた「選ぶ」とか「支援を求める」「拒否」が出来る力を身につける大切さの理由がきちんとわかりました。これからは間違わないように少しずつ練習していこうと思いました。また何度でも聞きたいと思う内容でした。親が出来る様にしたい！にならないように...忘れないようにしたいです。ありがとうございました。
 - ・映画が好きで子供が産まれる前までたくさん観ていたのに産まれてから観なくなった趣味をもう一度！と思いました。映画館行きたいです。「マラソン」観てみたいです！
 - ・動機を支援するという考え方がとても理にかなっているということがわかり、すぐにでも自閉症の子に取り入れていきたいと思いました。どうもありがとうございました。
 - ・滋賀県外から視聴させていただきました。とても分かりやすく今後、どのように支援すれば良いのかと悩んでいることの参考になりました。
- 職場では家族や利用者のアセスメントができていない、利用者さんより支援者が『べきおぼけ』に取り憑かれていると感じました。少しずつでも支援に生かしていきたいです。ありがとうございました。
- ・動機づけが大切だということ、なるほどと思いました。育て方は大きくは間違っていなかったなと少し安心しました。
 - ・当事者支援を行っていますが、どうしても「現状」の視点での支援になってしまっています。目の前の子どもの、成人期の就労まで視野に入れた支援ができていなかったことを改めて実感したとともに、実際の支援に活かせる視点や知識を学ぶことができた大変貴重な機会でした。受講してよかったと思います。吉川先生、ありがとうございました。

- ・普段、高齢分野での相談支援に携わっていますが、ご家族(子や兄弟)が障害(疑いを含む)を持っておられ関わりが難しいことがあります。就労されず、親の年金で生活している人も多く、就労支援が必要な方もいらっしゃるの、例えば幼少期から講座にあったような支援、環境があれば、かわっていたのだろうか、と思いました。「理念への傾倒」は本当に危険……
- ・発達障害の方の考え方の特徴を知ることができた。動機への支援について学ぶことができ、利用者との関わりの中で、すぐ活かせるように思う。同僚の考え方のくせにも心当たりがあり、自分と他人の違いは障害のある、なしには関係ないものであると感じた。大変わかりやすい講座で、より発達障害への興味が広がりました。
- ・テンポ良く様々な情報をお話し頂き、最後までとても興味深く学ぶ事ができました。日常よく起こる事象が多く、すぐに取り入れたいと思える手立てを得る事ができました。先生に直接お会いできなかったのは残念ですが、文献等参考にしながら学びを深めていきたいと思います。質疑応答にも具体的に丁寧に対応して下さい、実践で活かせるよう努めたいと思いました。
- ・就労は目的ではなく手段であるべきということ、充実した人生をおくるのが目的とするなら、働きつづけられるのではないかと思った。いい話を聞かせていただきました。
- ・発達障害を持つ人に対して支援を行ううえでは「動機」への支援が必要なのだとわかった。「動機」について注目されている話題は今回の講座を通して始めて知ることが出来たので、大変有意義であった。
- ・まず、自由な人生を送る為に、自ら選択する消費者になる。その為に金が必要で、そのために(就労)仕事をする。この考え方は同感できました。
- ・小さい時から「好きなことを広げる」という事で、就労支援が始まっていること。好きな事がせまく、たのしみ方が独特な人が多いので、その好きなこと、やりたいこと探しも難しいなあと感じるのですけれど。「〇〇したら△△あるよ、どうする?」「〇〇しないと△△はない」が本人に分かりやすくきけるようにいつかなりたい。
- ・「就労の目的はお金にしておく」という言葉に納得しました。どうしても支援の中で「働くべき」だけの一本ちょうで相手をおいつめて答えを求めている場面を反省しました。また、発達支援のある方への特長を改めて見つめなおし、どういう言葉がけが必要なのか考える機会になりました。
- ・就労に向けての就学を考えていく中で、まだまだ必要な支援がみえたように感じます。話の内容にまだ理解のむつかしい点もありますが、がんばって子どもと向きあって行こうと思います。
- ・本人によかれと思ってしてしまうことが多いなあと改めて感じた。根拠(理論?)に基づいたゆるい支援(?)の必要性について、もっと学習していきたいと思った。
- ・報酬や動機について、発達障がいの人と通常の人との違いについていろいろ考えました。仕事の考えは人それぞれで、本当に難しいと思いました。
- ・発達障害の人の考え方、とらえ方のところで、支援する方がしっかりと理解をし、支援を行なっていくことで、“変えられること”“変えていけること”が出来るということが学べました。これらを知ったことで今より発達障害のことをもっと知りたいと思いました。
- ・いろいろな話について、もっと詳しく教えてもらいたいくらいでした。ゲームやネットの話も聞きたいです。
- ・自分が現在行っている支援のあり方を見つめ直すことができた。その上で改めて利用者のことを理解し直し、支援のあり方を適切に行なおうというきっかけになった。話も聞きやすく、資料も見やすかった。
- ・発達障害についてなんとなくのことは知っていたが、本講座を聞いたことでそのなんとなくというのは浅い考えであったことが分かりました。当事者たちも理由があって行動していると分かったので、その理由の見極めをして、支援していきたいと思います。
- ・知的障がい者の保護者です。余暇活動の大切さが、よく、わかりました。本人も、余暇が充実していると、ストレスが少ないように思います。また講座開催を、お願いします。